

企業にとってセキュアなリモート・アクセスはますます重要なものになっています。許可されたユーザーに対して社内リソースや情報を安全にアクセスできるようにすることは、企業の管理者にとって必須事項ですが、ラック一杯の装置、複雑なライセンスや保守体系によってリモート・アクセスおよびディザスタ・リカバリ対応戦略がわかりにくいものになっています。それに対するAEP Networksの答えは次の通りです。

- ▶ 自社の仮想化インフラにプラグインするエンタープライズSSL VPN
- ▶ 制限のないバーチャル・アプライアンスを可能にするシンプルで低価格の年間サイト・ライセンスによる、スケーラブルで耐障害性の高いアーキテクチャ

社内情報を管理された状態でアクセスする必要のある社員、パートナー、ベンダーに対し、セキュアで適切に制御されたアクセスをシームレスに提供するというのは、かなりやっかいな作業になりがちですが、AEP Series A[®]SSL VPNバーチャル・エディション (Series A VE) ならば既存のインフラを活かし、作業を用意に行えます。

Series A VE の利点

拡張性と高い費用対効果: Series A VEでは企業内の組織をすべて包含する年間サイト・ライセンスが用意されており、ユーザー数無制限で保守とアップグレードが受けられます。Series A VE製品はITセキュリティ管理者に対し、サーバー仮想化の展開によるハードウェア保守プロセスの合理化、データセンターの電力消費量削減、ビジネス継続性の向上の恩恵を与えます。

災害対策: Series A VEは災害、悪天候などの非常時に社内データへのアクセスを確保する優れたソリューションとなります。無制限のライセンスと仮想化されたSeries Aサーバーを自在に活用させられることで、こういった状況下においてインフラを即座に拡張することができます。

信頼の実績: AEP Networksはセキュアなリモート・アクセス、アプリケーション保護、ユーザー認証ソリューションの開発におけるパイオニアで、世界中の多くのGlobal 1000企業や政府、教育機関が同社の製品を使用しています。

導入と利用の容易性: Series A VEは既存の仮想化インフラに追加投入することができます。ファイアウォール上でポート443をSeries Aに向け、Series Aを既存の認証サーバーに向け、アプリケーション・ポリシーを設定するだけで完了です。既存の認証およびユーザー・ディレクトリと統合されますので、ユーザーを新たに作成したり変更したりする必要がありません。



企業向けとしての理想型

- ・ 予めパッケージ化された仮想アプライアンスにより、VMware ESXなどの仮想サーバーに対するインストールが簡略化され、既存の環境に適合します。
- ・ 既存の認証インフラへの容易な統合
- ・ フラットなサイト・ライセンスと保守料を包含した価格設定
- ・ Webベースのクライアントレスあるいはクライアント・インストール・オプション
- ・ 拡張性と災害対応: AEP Netillaロードバランサーを用いて、複数のインスタンスを個々にアドレス可能なアプライアンスとしてあるいはクラスターとして束ねて実装することで、比類なきスケールと冗長性が物理的な範囲を超えて広がります。

Netilla VEの特長的機能

- ・ シームレスな認証: Active Directory、Novell NDS、LDAP、Open Directory、Radius、SecureID、VASCO、PKI、HSPD-12をサポートし、既存の認証インフラにプラグインすることができます。
- ・ 広範なアプリケーション・サポート: ターミナル・サービス、VDI、Citrix、Webベース・アプリケーション、SharePoint、Exchange、あらゆるTCPベースのアプリケーション、SSLトンネル機能。
- ・ クライアント・マシンの識別: 組織によって提供されたPCだけが特定のリソースにアクセスでき、認証されていないマシンの変更などの場合は確実にアクセスを制限します。
- ・ クライアント・ホスト・インテグリティ: クライアント装置が社内標準のアンチウィルス、ファイアウォール、その他アクセスにあたっての条件を満たしていることを確認します。
- ・ 高可用性: インフラは必要に応じて拡張でき、地域的に分散したデータセンターでもアクセスの可用性を保ちます。

Netilla VEの推奨する理由

- ・ 管理: Webベースの管理により、複雑なCLIを学ぶ必要はありません。
- ・ アクセス: 比類なきアクセス制御オプションおよび統合の容易さ。
- ・ 証明書: ICASA v3およびVPNC認定、FIPS 140-2 Level 4オプションが可能。
- ・ セキュリティ: 他にない密なセキュリティ設定、制御アプリケーション、realm/グループ/ユーザーによるアプリケー

Netilla V-Realmのアーキテクチャ

- ・ アプライアンスあたり最大1000を超えるバーチャル”realm“
- ・ 細かな認証とポリシー・グループ(たとえば、部門毎等)
- ・ グループあたり最大10の認証、クライアント・インテグリティ、ポリシー・ステージをサポート
- ・ Microsoft® Windows™ Active Directoryグローバル・セキュリティ・グループ、LDAPグループ、RADIUSグループおよびローカル・グループをサポート

認証

- ・ Microsoft Windows Server 2000/2003/2008
- ・ SMB/Active Directory
- ・ RADIUSおよびRADIUSグループ
- ・ LDAP (Open LDAP、Apple® Open Directory、Novell eDirectory®、IPPlanet™)
- ・ Kerberos
- ・ Vasco® Digipass (ビルトイン・サーバー)
- ・ RSA SecurID®
- ・ ActivCard®
- ・ Aladdin®
- ・ 証明書失効リスト(CRL)をサポートするクライアント・サイド証明書
- ・ HTML Forms Based

暗号化

- ・ 128ビットSSL 3.0暗号化
- ・ AES暗号群(cipher suite、128、256ビット鍵長)
- ・ すべての認証およびセッションデータの暗号化

ファイアウォール

- ・ ステートフルインスペクション技術
- ・ 単一ファイアウォール・トラバーサルによるポート開放の制限
- ・ 制御トンネリング・アクセス用セッションベース

追加オプション

- ・ エンドポイント・セキュリティ・スイート(キャッシュ・クリーナークライアント・インテグリティ)
- ・ セッション・タイムアウトと定期的再認証の設定
- ・ 指示に基づくセッション切断
- ・ 単一ログイン設定
- ・ FIPS 140-2 Level 4準拠オプション
- ・ CESA “プライベート”準拠
- ・ 冗長電源スイッチ/ハードドライブ

継続性および生産性

- ・ AEP Netilla Load Balancerにより、最大10台のNetillaアプライアンスで高可用性、クラスタリングおよび地域的負荷分散することが可能
- ・ セッションの永続化(Windowsターミナルサーバー向け)
- ・ AEP Netilla GeNIE™セキュリティおよびシステム・アップデート

推奨のブラウザおよびO/S

- ・ Windows XPおよび(32-bit) : 全サービス
 - Microsoft Internet Explorer 8.x、7.x、6.x、Mozilla Firefox 2.x/3.x
- ・ Macintosh OS X(10.5) : Thin Proxy、Web Reverse Proxy、Web Port Forwarding、ファイル
 - Safari 2.x
- ・ Linux Red Hat: Thin Proxy、Web Reverse Proxy、Web Port Forwarding、ファイル
 - Mozilla Firefox 2.x/3.x

メール

- ・ Outlook Web Access (OWA)またはその他のWebベースのメール
- ・ Microsoft Exchange、Lotus iNotesまたはその他のIMAP

アプリケーション

- ・ Windows Terminal Services、Citrix® XenApp™、Ericom® PowerTerm WebConnect、VDI、Linux/Unix/X-Window、メインフレームのキャラクタ・モード
- ・ PACS、CRM、Sales Force Automation (SFA)、Siebel®、Oracle®、PeopleSoft®、ポータル、その他のWebベース・アプリケーション
- ・ Microsoft Exchange、Microsoft Great Plains、GoldMine®、その他のクライアント/サーバー・アプリケーション
- ・ アプリケーション自動起動オプション
- ・ ポリシーベース、アイコンベースのユーザー・インターフェイス

ファイル・アクセス

- ・ Javaベースのファイル・ブラウザ
- ・ Microsoft ActiveDirectory、ユーザー・ホームフォルダ、ドラッグ・アンド・ドロップによるアップロード/ダウンロードのサポート
- ・ ドライブ・マッピング

管理およびレポート

- ・ Webベースの管理GUI
- ・ 接続の管理と表示ツール
- ・ SNMPおよびSyslog
- ・ ファイアウォール・イベント・モニタリング
- ・ パフォーマンスおよびシステム・アラランス・モニタリング

ネットワーク要件

- ・ スタティックIPアドレスをもつ専用インターネット・アクセス
- ・ 専用DNSエントリ
- ・ 10/100/1000 BASE-T Ethernet接続

構成

- ・ 既存のVMware管理ツールにより、VMWare®インフラを統合可能
- ・ 社内全体のセキュリティ・フレームワークに容易に統合

処理

- ・ 次のような柔軟なオプションが可能(.ovf)。
- ・ エントリ(Entry)
- ・ サイト(Site)
- ・ エンタープライズ(Enterprise)
- ・ Netilla .iso (quad core、8GB RAM)から自身のものを作成可能

ライセンス・オプション

- ・ エントリーレベル(1プロセッサにつき1仮想マシン)
- ・ サイト内無制限
- ・ エンタープライズ・ワイド(2台の別個のNetilla負荷分散VE仮想マシンを含む)

お問合せ窓口:

United States

Toll-Free: +1-877-638-4552
Tel: +1-732-652-5200

Europe

Tel: +44 1344 637 300

Greater China

Tel: +8621 5116 7120

Japan, SE Asia, Singapore

Tel: +852 2961 4566

Australia/New Zealand

Tel: +61 2 9413 2282

Malaysia:

Tel: +60 32166 2260

Email: sales@aepnetworks.com

Web: www.aepnetworks.com

VMware Technology Alliance Partner



認定

